

第20期 事業報告

特定非営利活動法人福祉発信基地友の家

2023年10月1日～2024年9月30日

I とものや部

1 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス

事業名	居宅介護・重度訪問介護 (サポートハウスとものや)	実施時期	通年										収入額	48,484,559	円
		実施場所	利用者宅等												
		受益対象者	利用契約を結んだ方 15名										支出額	38,162,325	円
		従事者	ヘルパー 18名												
目的															
・入浴 食事等の介護及び外出時における移動の介護等、地域で生活するのに必要な援助を提供する。															
事業内容															
・利用者の希望する時間帯や希望する内容に沿って、ヘルパー派遣を行う。															
・職員のスキルやすぐに実践で生かせるよう、個々に合わせた外部研修への参加。															
・友の家だよりの発行（月1回） 月1回発行。中小田井学区・枇杷島学区の回覧板や地域の掲示板に掲載。															
・ブログ、ツイッター等を活用しての情報発信															
【サービス提供時間】															
・ 目標：月1,085時間（前年合計 13,690時間）（時間）															
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計		
居宅	61	64.5	56	61	63	58	64.0	63.0	63.0	69.0	57.0	58.5	738.0		
重訪	853.0	906.5	862.0	902.0	866.5	903.5	914.0	902.5	863.0	904.5	883.0	793.5	10,554.0		
合計	914.0	971.0	918.0	963.0	929.5	961.5	978.0	965.5	926.0	973.5	940.0	852.0	11,292.0		
総括															
・一人一人への利用者支援に対し、職員間で日常的な情報共有を図り、サービス提供責任者及びスタッフ間で課題や改善について話し合い、対応している。															
・夜間帯を二人体制にすることで収益のアップにつながったが、必要な人材の確保には至らなかった。															
・新型コロナウイルスの感染対策として、支援前の検温・マスクの着用・手洗い・消毒の徹底をした。また、任意でのワクチンの接種とPCR検査を行った。															
・コロナ禍の状況の中で、個々のスキルに合わせた実践的な介護研修の機会が少なく参加が難しかった。															
・より多くの人に事業所を知ってもらえるよう、ブログやツイッター・友の家だよりを利用した。															

2 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業

事業名	移動支援 (サポートハウスとものや)	実施時期	通年	収入額	-	円						
		実施場所	利用者の外出先等									
		受益対象者	利用契約を結んだ方 4名	支出額	-	円						
		従事者	ヘルパー 5名									
目的												
・ 外出時における移動の介護等、必要な援助を提供する。												
事業内容												
・ 利用者の希望に添った支援が提供できるようにヘルパー派遣を行った。												
【サービス提供時間】												
・ 目標：月50時間（前年 150.5時間）（時間）												
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

総括	
・新型コロナウイルスの影響で外出ができなくなったことと、男性職員の減少で支援の回数が減ってしまった。 ・一人一人への利用者支援に対し、職員間で日常的な情報共有を図り、サービス提供責任者及びスタッフ間で課題や改善について話し合い対応をしている。	

事業名	名古屋市重度障害者入院時 コミュニケーション支援	実施時期	通年	収入額	〇 円
		実施場所	利用契約者の入院先		
		受益対象者	利用契約を結んだ方 〇名	支出額	〇 円
		従事者	ヘルパー 16名		
目的					
・入院時における、利用者と病院スタッフ等との意思疎通を図るのに必要な援助を提供する。					
事業内容					
・入院時コミュニケーション支援事業の認定者である利用者が入院した時にヘルパー派遣を行い、医療従事者に対し本人の意思や希望、または介護方法を代わりに伝えた。					
総括					
・入院をして利用される方がいなかった。 ・名古屋市に利用対象の拡大や報酬の増額など改善を求めていく必要がある。					

3 訪問介護事業

事業名	訪問介護	実施時期	今期は実施していない。
		実施場所	
		受益対象者	
		従事者	

4 福祉有償運送事業

事業名	福祉有償運送	実施時期	通年										収入額	112,175 円	
		実施場所	利用者宅と目的地の間												
		受益対象者	利用登録された方のうち依頼のあった方 4名										支出額	- 円	
		従事者	移送サービス運転者 5名												
事業内容															
・ 公共交通機関の利用が難しい方に対し車両を利用した移送を行う。															
事業内容															
・ 緊急時対応のみの提供を行った。															
・ 安全で快適な輸送を心がけ車両美化に力を入れた。															
【サービス提供回数】													(回数)		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計		
	5	2	5	4	2	3	2	2	3	5	4	4	41		
総括															
・ 車両の設備点検を徹底し、さらに車両の美化に努めた。															
・ 人材不足により登録者のうち公共交通機関がどうしても利用できない通院等の限られた支援となっている。															
・ 新型コロナウイルスの影響で一時期通院を見合わせていたが、徐々に利用をし始めている。															

5 福祉サービスリクエスト事業

事業名	福祉サービスリクエスト事業	実施時期	通年	収入額	- 円
		実施場所	サポートハウスとものや		
		受益対象者		支出額	- 円
		従事者			
目的					
障害福祉サービスの利用ができないが支援を必要とする者に対して入浴、食事等の介護及び外出時における移動の介護等、地域で生活するのに必要な援助を提供する。					
事業内容					
利用者からの希望に沿ってサービス提供を行う。 ・通常サービス 1 時間¥2,000 ・入院時サービス 1 時間¥1,000					
総括					
・医療型入所施設の利用者が定期的に利用するようになったが、新型コロナウイルスの影響で今期も利用はなく、再開の目途が立っていない。					

Ⅱ ホーム部

1 福祉住宅サービス事業

事業名	福祉住宅サービス事業	実施時期	通年	収入額	1,128,150	円
		実施場所	地域ホーム			
		受益対象者	利用契約を結んだ方 4名	支出額	3,538,051	円
		従事者	職員 6名			
目的						
・障がいを持つ入居者が社会の一員として地域でふつうの生活ができるよう、住居の提供を行う。 ・管理委託契約により入居者の生活を行う。						
事業内容						
・快適な生活空間の確保と、円滑な生活支援を行った。						
総括						
・共有部分の環境整備計画をたてて快適な住環境を維持した。 ・防災対策を9月・3月にチェックし、できる限りの安全確保を行った。 ・入居者の代行として日常的に共有物品のチェックを行い、必要な物品の購入や入居者の要望に応えた食材の購入を行った。						

Ⅲ ふらっと部

1 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス

事業名	生活介護 (ふらっと)	実施時期	通年	収入額	69,704,617	円						
		実施場所	ふらっと									
		受益対象者	利用契約を結んだ方 28名	支出額	65,161,970	円						
		従事者	職員 21名									
目的												
入浴や排泄、食事等の介護や、創作活動、生産活動等の機会を提供し、障がいを持つ方が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、生活能力の向上のために必要な訓練等を行う。												
事業内容												
【サービス提供時間】月曜日～金曜日（及び事業所が別に定める土曜日）9:30～15:30												
【サービス実施場所】ふらっと 清須市春日天神160												
【サービス提供人数】												
・ 延べ 4,144人（前期3,415人）												
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
315	316	331	339	341	382	371	377	328	359	359	326	4,144

総括	
・10月に清須市阿原から清須市春日に事業所を新築移転し、事業所の名称も「ふらっと」に変更した。	
・8名新規契約、2名契約終了により、契約者数は6名増え27名となった。延べ利用日数は約21%増。	
・生活支援員19名（常勤5名、非常勤14名）、非常勤看護師2名の体制で支援にあたった。	
・身体障害・知的障害・精神障害・医療的ケアが必要な方、と様々な利用者が増えた。取り組み内容の工夫がより一層必要である。	
・感染防止対策として、こまめな消毒の徹底を図り、高性能空気清浄機やサーキュレーターも取り入れて、密な状態を作らないように努力している。新型コロナウイルスが5類になったが、支援中のマスク、手指消毒は継続している。	
・年末年始休業 12/30～1/3 夏季休業 8/13～8/15	

2 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業

事業名	日中一時支援事業 (ふらっと)	実施時期	通年	収入額	- 円								
		実施場所	ふらっと										
		受益対象者	利用契約を結んだ方 1名	支出額	- 円								
		従事者	職員 1名										
目的													
障がいを持つ方に日中活動の場所を提供し、見守りや社会に適合するための日常的な訓練などの支援を行う。													
事業内容													
【サービス提供時間】月曜日～金曜日（及び事業所が別に定める土曜日）15:30～18:00													
【サービス実施場所】ふらっと 清須市春日天神160													
【サービス提供人数】													
・ 延べ 0人（前期 1人）													
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
													0
総括													
・ 生活介護との時間帯や人員配置の関係で、サービス提供時間は夕方のみ。													
・ 定期的な利用はなく、一時的な対応という形を取っている。													

IV まちづくり

1 障害者・高齢者等を対象とした危機管理に関する講習会

事業名	危機管理に関する講習会	実施時期	人材不足により、今期は実施していない。
		実施場所	
		受益対象者	
		従事者	

2 福祉啓蒙事業

事業名	福祉啓蒙事業	実施時期	通年	収入額	656,600	円
		実施場所	福祉発信基地友の家等			
		受益対象者	地域住民等	支出額	751,709	円
		従事者	職員・ボランティア等			
目的						
・ 地域の方や福祉に関心のない方にも、より身近に障がいを持つ方々の生活を知ってもらえるような活動を行う。						

事業内容					
1) 会報発行（1月、5月）					
2) イエローレシートキャンペーン					
- MOZOワンダーシティ店、イオンタウン名西店において、毎月11日に行われるキャンペーンに参加。 - 還元額MOZOワンダーシティ11,800円、イオンタウン15,100円					
3) 物資販売					
カタログ販売により、運営資金の調達を行った。					
	期 間	売上目標	売上金額	利益	目標達成率
冬季	10月上旬～12月上旬	350,000	330,050	71,223	94%
夏季	5月下旬～7月下旬	300,000	316,520	68,011	106%
4) 西区民まつり					
人員不足のため不参加					
5) ふらっとチャリティーバザー					
11月よりふらっとパントリーを開催している。					
総括					
- 会報は、カラー印刷で各事業所の情報を掲載し、親しみが持てる内容を心掛けた。 - イエローレシートのMOZO店頭での呼びかけは新型コロナ感染防止のため店頭呼びかけは参加していない。 - 物資販売は夏季・冬季ともほぼ目標達成できた。					

3 防災対策事業

事業名	防災対策事業	実施時期	人材不足により、今期は実施していない。
		実施場所	
		受益対象者	
		従事者	